

丹波2050地域ビジョン
「たんばユース躍動プロジェクト」

丹波の
もりびと
になろう！

※「丹波の森づくり」とは… 丹波地域の美しい自然、生活空間、文化や歴史、そして地域の営みや交流すべてを丹波の森と表現している

※「丹波のもりびと」とは… 「丹波の森づくり」に関わる人たちの総称

【主催】（公財）兵庫丹波の森協会 【後援】兵庫県森林動物研究センター、丹波篠山市、丹波市
【お問合せ】（公財）兵庫丹波の森協会（担当：上雨木、荻野）TEL:0795-73-0933/FAX:0795-72-5164

このプロジェクトは、丹波の森公苑にて開催している「縄文の森塾」のアドバンスコースとして、高校生・大学生・社会人などを対象として、丹波の森を見守る次世代チャレンジャーの育成を目的としています。

森を健全に持続していくためには、森と動物と人間が共生するための知恵や技術を、多面的な研究成果から学び直すことが大切です。本講座では、昔ながらの調査手法に加えて、センサーカメラ、ICTを用いた捕獲方法など新しい調査技術も学ぶことができ、国際的な野生動物調査にも参加することができます。

～カメラトラップによる国際野生動物調査にも参加しよう！～

直接観察が難しい野生動物の調査には、センサーカメラを用いた調査（カメラトラップ）が行われます。今回は国際的な共同調査プロジェクト「Snapshot Global」と同一の手法で、研究者と参加者での共同調査を試みます。調査後のデータはプロジェクトで共有され、国内外の研究に利用される予定です

- ◆ 期間：令和6年6月～10月
- ◆ 場所：丹波の森公苑（丹波市柏原町柏原5600）
- ◆ 対象：高校生、大学生、社会人など
- ◆ 参加形態：通年参加を優先、個別参加も可能（先着20名程度）

講座の内容

○6月23日（日）10時～15時：植物の生態を学ぶ（担当：藤木大介）

- ・「森の成り立ちと植物の見分け方」、「検索図鑑を用いた樹木の学習」
- ・「シカの食害による植生の変化を理解する」、「丹波の森公苑内での影響の現状と対策」

○7月28日（日）10時～15時：食の恵みを体感する ※参加費2,000円

（担当：横山真弓・藤本裕昭・福井佑実子）

- ・「シカ問題を『食べる』から考える」、「ジビエ料理の体験と試食」
- ・「人と野生動物の関わりを考える」、「野生動物の捕獲と食資源化について」
- ・「畑から食卓までの循環～有機農業の視点でシカ問題を考える」

○8月24日（土）10時～16時：動物の生態を学ぶ①（担当：高木俊）

<国際調査プロジェクトへの参加>

- ・「野生動物の生息状況の調査方法」、「センサーカメラの設置」

○10月19日（土）10時～16時：動物の生態を学ぶ②（担当：高木俊）

<国際調査プロジェクトへの参加>

- ・「センサーカメラの回収」、「撮影されたデータの確認と集計」

○11月9日（土）10時～12時：生活環境への恵みを学ぶ（担当：上南木昭春）

- ・「森が有する現代的役割と保全・活用方法」

講師紹介

(登場順、敬称略)

藤木 大介 (フジキ ダイスケ)

博士(農学)。兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 准教授。兵庫県森林動物研究センター主任研究員を兼務。専門は森林生態学。植物と動物(主にニホンジカ、ツキノワグマ)の関係を解明することで、よりよい生態系の管理のあり方を模索している。

横山 真弓 (ヨコヤマ マユミ)

博士(獣医学)。兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 教授。兵庫県森林動物研究センター研究部長を兼務。専門は野生動物管理学。主に人と軋轢の多いツキノワグマ、ニホンジカ、イノシシを対象に行動特性や栄養状態に関する研究を行い、人と野生動物の共存に向けた仕組みづくりを行っている。

藤本 裕昭 (フジモト ヒロアキ)

NPO法人里山グリーンネットワーク。専門学校を経て調理師として飲食業界に従事。後に地元山南町で開業した焼き鳥店のメニューに(株)丹波姫もみじの鹿肉をとり入れたことがきっかけとなり、現在はNPO活動として鹿の有効活用、並びに鹿肉普及に取り組む。

福井 佑実子 (フクイ ユミコ)

株式会社立プラスリジョン 代表取締役。農林水産省施策農山漁村発イノベーションプランナー、有機JAS検査員、IFOAM Organics ASIA (国際有機農業運動連盟 アジア支部) 理事として国内外の有機農業支援・推進に取り組んでいる。2013年「ひょうごユニバーサル社会づくり賞」兵庫県知事賞受賞

高木 俊 (タカギ シュン)

博士(農学)。兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 准教授。兵庫県森林動物研究センター主任研究員を兼務。モニタリングデータの分析からシカやツキノワグマなどの野生動物の個体群動態の推定を行い、動物の生息状況把握や適切な個体数管理にむけた研究を行っている。

上甫木 昭春 (カミホギ アキハル)

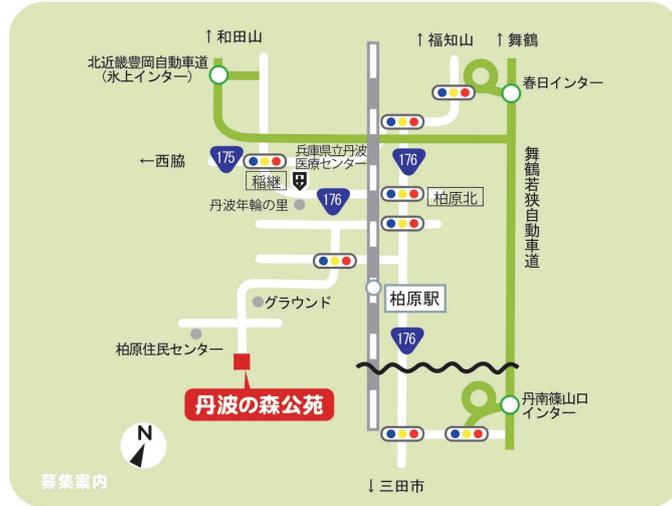
博士(学術)。大阪府立大学名誉教授。公益財団法人兵庫丹波の森協会 丹波の森研究所特任研究員。専門は緑地計画学、地域生態学。地域の自然と歴史を手掛かりに、健全な地域環境の形成のあり方を探る調査研究に取り組んでいる。

受講申込方法

- ① 下記の受講申込書に必要事項を記入の上、丹波の森公苑 2 階事務局窓口までお持ちいただくか、または郵送、FAXでお申込みください。
- ② 右記のQRコードを読み取り、申込フォームからもお申込みいただけます。フォームに従って送信してください。
- ③ 申込締切 6月19日（水）



会場地図



令和6年度「たんばの“もりびと”になろう」受講申込書

令和6年 月 日

ふりがな				年齢	
氏名				歳	
住所	〒 -				
電話番号	() -	FAX 番号	() -		
Emailアドレス (お持ちの方は記入してください)					
希望講座	【 】全講座	【 】6月23日(日) (担当：藤木大介)	【 】7月28日(日) (担当：横山真弓他) ※参加費2,000円		
全講座または個別講座の該当する【 】内に○をつけてください	【 】8月24日(土) (担当：高木俊)	【 】10月19日(土) (担当：高木俊)	【 】11月9日(土) (担当：上甫木昭春)		

※ご記入いただいた個人情報は厳重に管理し、当事業のみで使用します。